

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	小諸市市道0135号沿いの梅の木整備
事業主体 (連絡先)	小諸市立芦原中学校コミュニティースクール運営委員会 (小諸市新町二丁目6番1号 0267-22-0071 代表 柳沢 勝)
事業区分	(3) 教育、文化の振興に関する事業 (5) 環境保全及び景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	742,085円 (うち支援金: 541,000円)

事業内容

小諸市の玄関口とも言える芦原中学校前の梅林道路であるが、樹勢の衰えも指摘されていた。そこで、昨年度、和歌山県より南高梅の苗木50本を取り寄せて定植したのに続き、2年目となる本年度は、100本の南高梅の苗木を定植した。

- 1 梅の木の状態の確認 7/20 (金)
- 2 苗木の買い付け 10/14 (日) ~15 (月)
- 3 苗木定植用穴掘り 11/ 4 (日)
- 4 苗木受け取り 11/24 (土) ~25 (日)
- 5 苗木の定植 11/28 (水)
- 6 防寒対策と施肥 11/29 (木) ~1/27 (日)

この梅を大切に育て、景観保護や収穫した梅の有効活用について取り組むことを通して、地域と共にある学校づくりを進めていく。



【11/28 苗木の定植作業】

事業効果

- ① 2年間で、当初予定していた場所への梅の定植を完了することができた。昨年度植えた苗木には多くの蕾がついており、間もなく開花する初花に期待している。
- ② 学校への誇りや、それを基盤とした自尊感情の高まり、社会貢献への意識等については、梅の苗木の生長と共に、今後、生徒個々の中に徐々に醸成されていくものと考えている。学校としては、そうした生徒の育ちを支える梅に関する活動を今後も考えていく。
- ③ 現存木からの梅の収穫において、本年度初めて梅とりボランティアを募集した。今後も、こうした地域との結びつきを大切にしたい取組を進めていく。

今後の取り組み

- ・梅の収量が増加していくことを見越し、梅の実の有効活用について考えていく。その際、生徒の探究的な学びの充実と地域連携の視点を重視し、学習指導要領に即した、生徒の生きる力の育成に取り組んでいく。
- ・現存木に込められた先達の思いを大切にするために、聞き取り調査等を行う。

【目標・ねらい】

- ① 地域の景観保護
- ② スクールアイデンティティ確立
- ③ 地域と共にある学校づくり

※自己評価【 B 】

【理由】

当初予定していた本数の苗木を定植することができ、また予定していた場所への苗木定植を完了することができた。また、昨年度「今後の取り組み」に掲げた「地域の方との協働による梅の実の収穫や仕分け」に着手することができた。